

「最高の誕生日プレゼント」(2023. 4. 16)

わたしの魂よ、主をたたえよ。わたしの内にあるものはこぞって聖なる御名をたたえよ。わたしの魂よ、主をたたえよ。主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。 <詩 103:1~2>

今年の4月9日はイースターだった。十字架上で死なれたイエス様は、三日目に復活され、弟子たちにその姿を顕現された。驚き怪しみ、喜ぶ弟子たちに、手とわき腹の傷を見せて、「信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」と招かれた。そのように、今日も復活のイエス様は呼び掛けていらっしゃる。

イースターのこのよき日に、S 兄が洗礼を受けられた。1年半の求道生活を経ての受洗だった。復活のイエス様の御声が、他人ではなく、今まさに自分に向けられていると受け止め、「ハイ！」と応答されたのである。受洗後、洗礼を志願するに至った経緯を会衆の前で告白された。78年間の全てを赦され、きよめられ、新たな誕生、新たな旅立ちの宣言だった。



そしてこの日、横手教会では4月誕生&受洗記念会が開かれた。該当する12名の内、5名が出席し、愛唱讃美歌を共に歌い、一人ひとりがこの日の喜びを分かち合った。4月9日誕生の私もその一人である。前日、何を語ろうかな？と思い巡らしていたら、ハッと気づかされた。私には最高の誕生日プレゼントが与えられている！S 兄の受洗である。横手教会に転任して2年目に母が受洗し大きな慰めを戴いたが、横手市民の祝福と救いを願い祈ってきた願いと祈りが、今7年目に入り、叶えられた。牧師の務めを担う者として、最高の喜びであり、上掲の御言葉のように、心より神様の慈しみを称えたい。

本日、4月16日は横手教会の総会である。昨年の報告を振り返ると、そこには数々の恵みの足跡がある。4名の兄姉の召天も、である。「天が地を高く超えているように、わたしの道は、あなたたちの道を、わたしの思いは、あなたたちの思いを、高く超えている。」(イザヤ 55:9)この信仰の目をもって受け入れたい。そして、新しい年度、「祝福しよう、恵もう」と熱情を注がれる主に望みを置いて、「どうなるのかな、楽しみだな」とワクワク感をもって踏み出したい。